



## 石油備蓄放出、短期的な需給逼迫の対応手段＝米エネルギー長官

[ワシントン 30日 ロイター] - グランホルム米エネルギー長官は30日、緊急時に備えて米政府が保有している石油備蓄は異例の短期的な需給不一致に対応するため、政府が使用できる手段だという認識を示した。

ロイターのイベントの中で来週に公開予定のインタビューで述べた。

バイデン米大統領は先週、日本や中国、インドなどと協調し、石油価格の抑制に向けて戦略石油備蓄を放出すると発表。米国の放出量は5000万バレルで、石油会社への貸与と売却の形で実施するとした。

グランホルム長官は「こうした目的で（備蓄を）使用できると知っておくのは良いことだ」とし「われわれには、このような交換や売却を慎重かつ系統的に行う権限が法律によって備わっている」と述べた。

一方、米国は石油価格を統制しておらず、政権の長期的な目標は石油からのシフトだと指摘。「短期的な解決策は供給を増やして需要を満たすことだが、長期的にはクリーンエネルギーに投資し、不安定な（エネルギー）源への依存を減らすことだ」と述べた。

また、戦略備蓄放出について、新型コロナウイルスの感染が減少して人々の移動が増え始める中で石油が高値にあるという「極めて異例の時」に使用された手段の1つだとし、日常的に講じる措置ではないと強調。

今後の放出の可能性については、いかなる予測もしないとした上で「使用可能な手段だ」と述べた。



## 週間原油コスト1円規模低下

### 新変異株 先行き懸念 2週下振れ

本紙算定による円建て週間原油コスト（ドバイ・オマーン平均）は2週続けて下振れした。11月23～29日は前週から約1円、24～30日は1円20銭ほど引き下がった。サウジアラビアのアジア向け調整金は11月積みめ円換算で30銭程度の値下げとなっている。原油価格は算定期間後半に大きく水準を切り下げており、次回算定値を押し下げそうだ。別表参照。

### サウジ調整金は30銭引き下げ

原油相場は期間前半にやや強含んだものの後半に大幅反落した。南アフリカで新型コロナウイルス変異株「オミクロン株」が確認された。すでに欧州などでも感染者が出ており、世界経済先行き懸念が急速に高まった。主要国の金融市場で

もリスク回避の動きが加速。11月26日の米株式市場でダウ工業株30種平均は終値で前営業日比900超、東京株式市場の日経平均株価は740円超下落。一方、米債券市場では安全資産の国債に買いが集まり、米長期金利は1.6%台から1.4%台に低下した。供給面では米国政府が11月23日、日本や中国、インドなどの主要消費国と協力して石油備蓄を放出すると発表。米国は今後数カ月で5000万バレルを放出、日本は国内消費量の数日分にあたる数十万バレルの国家備蓄原油を売却する。ただ市場で

は織り込み済みとみられ反応は限られた。OPEC（石油輸出機構）とロシアなどの産油国からなるOPECプラスは2日に閣僚級会合を開く。原油価格が急落するなか、生産調整をめぐる議論の行方が注目される。指標原油（期近、終値）は11月26日、米国産WTIが前営業日比10バレル（13.1%）安の68バレル、北海プレントは9バレル（11.6%）安の72バレルと、9月上旬以来、およそ2カ月半ぶりの安値圏となった。

期間平均では米国産WTIが4バレル（5.7%）、北海プレントが1バレル（2.4%）下落。WTIは急落前の25日が感謝祭の休場で、算定日数が1日少ないことから下げ幅が大きく出た。中東産ドバイ・オマーン平均は11月23～29日が1バレル、24～30日が1

が80ほど値を下げている。為替相場は円安ドル高が進んだ。大手銀行TTSレート平均は11月23～29日が前週比47銭円安ドル高の1バレル15円81銭、24～30日が22銭円安ドル高の1バレル15円60銭をつけた。FRB（米連邦準備制度理事会）が金融引き締めに取り組むとの観測が引き続き円売りのドル買いを支えた。ただ期間後半には世界経済の不透明感から円を買い戻す動きが出ている。

週間原油コストの推移

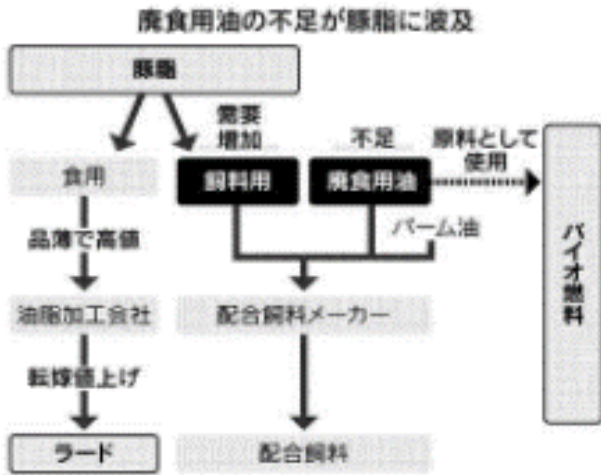
期間	原油相場		為替(▲は円高)		円建て原油コスト	
	\$/バレル	前週比	円/\$	前週比	円/\$	前週比
10/19~10/25	83.04	0.92	115.18	0.47	60.15	0.90
10/20~10/26	83.21	0.93	115.11	0.26	60.24	0.81
10/26~11/1	82.81	▲0.23	114.92	▲0.26	59.85	▲0.30
10/27~11/2	82.40	▲0.81	114.97	▲0.14	59.58	▲0.66
11/2~11/8	80.92	▲1.89	114.91	▲0.01	58.48	▲1.37
11/3~11/9	80.63	▲1.77	114.70	▲0.27	58.17	▲1.41
11/9~11/15	81.66	0.74	114.67	▲0.24	58.89	0.41
11/10~11/16	81.56	0.93	114.86	0.16	58.92	0.75
11/16~11/22	79.67	▲1.99	115.34	0.67	57.79	▲1.10
11/17~11/23	79.20	▲2.36	115.38	0.52	57.47	▲1.45
11/23~11/29	78.00	▲1.67	115.81	0.47	56.81	▲0.98
11/24~11/30	77.40	▲1.80	115.60	0.22	56.27	▲1.20

(注)原油はドバイ、オマーンの平均。為替レートはTTS。

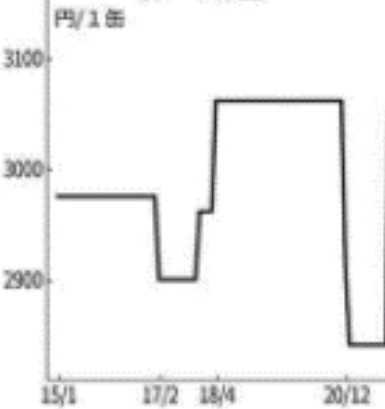
## ラード、3年半ぶり上昇

### 豚脂品薄 バイオ燃料利用増余波

揚げ油や調味料などに使うラードが約3年半ぶりに値上がりした。外食店向けの需要が戻るなか、原料の豚脂の値上がり分の転嫁が進む。豚脂と並び主要な飼料原料である使用済み食用油は、脱炭素につながるバイオ燃料向けの使用が増えている。これを豚脂で補う動きがみられ、ラード向けに品薄感が出ている。外食店などのコスト負担が重くなる。



新型コロナ前の価格を上回った  
(ラード卸値)



油脂加工会社が食品会社などに販売する価格は、1缶(15kg)当たり3140円前後。前月に比べ300円(11%)高く、2009年以来的の水

増にある。ラードの消費は持ち直しつつある。日本マーガリン工業会(東京・中央)によると、精製ラードの10月の生産量は2万740トンと前年同月を2%上回った。2カ月連続で前年比でプラスになった。ラードは揚げ油に使う

原料の豚脂の価格が引き継がれていることも、ラードの値上がりにつながった。豚脂は食用のほか、家畜のエサ向けの用途がある。パーム油のほか、飼料用の需要が増えている。豚脂の値上がりは、食用に回す豚脂の市場で品薄感が広がる。価格も上昇している。ラードをつくるための油脂加工会社は、必要量を確保するため、高値での調達を続けている。背景には、飼料用途の油脂の需給バランスの変化がある。海外での脱炭素の動きを背景に主要原料である廃食用油は輸出が増加し、不足気味にな

需要がある。緊急事態宣言などが解除され、外食店などの営業時間も延び使用機会が増えている。パーム油など植物由来の食用油は値上がりしており、割安だったラードを使う飲食店も出ているようだ。

財務省貿易統計によると、廃食用油(食用に適さない調製品など含む)の1~10月の累計輸出量は前年同期に比べ約3割増えた。廃食用油の業界団体、全国油脂事業協同組合連合会(東京・文京)は「バイオディーゼル原料として欧州連合(EU)向けの輸出が増えている」と指摘する。再生可能エネルギー大手のネステ(フィンランド)が廃食用油から軽油と同じ性能の再生ディーゼル燃料を製造するなど、EUは食用油を利用した脱炭素につながる取り組みが進む。ある専門家は「日本は発生量に比べ輸出は少ないと世界でみられており、供給地として国際的に注目が集まっている」と話す。

新型コロナウイルスの流行に伴う緊急事態宣言が9月まで続き、飲食店は休業や営業時間の短縮を余儀なくされた。廃食用油の発生も停滞している。ここに輸出の増加が重なった。豚脂を供給するある会社は「飼料メーカーの求める規格に沿って、飼料用に豚脂の出荷を増やす動きが出ている」と説明する。需要の底入れと原料高を背景に、油脂加工各社でラードの値上げの動きが相次ぐ。ADEKAは10月出荷分から1.20円以上引き上げると表明した。別の大手油脂加工会社も、10月納入分から1缶当たり300円の引き上げを行なった。ある中華料理店チェーンは「安定調達のために値上げを受け入れた」と話す。主要な食材は油類のほか、肉や砂糖、小麦粉などで軒並み値上げの動きが目立つ。資金の上昇が限られるなかで、大幅な転嫁値上げは消費者離れにつながるため困難だ。飲食店は採算が悪化する可能性がある。



# ウメモト インフォメーション

2021年12月1日

担当 坂田

## エネルギー供給、円滑な移行を 安永竜夫氏 三井物産会長

国連の第26回気候変動枠組み条約締約国会議（COP26）が閉幕した。脱炭素社会を目指すという理念の合意は進んでいるが、経済レベルや国情の違いが表面化し、実現する道筋が明確になっていないのは残念だ。特に懸念するのはエネルギー供給に関する二元論的な議論。再生可能エネルギーを善、化石燃料を悪とし、それぞれの特徴や課題・コストを踏まえた冷静な議論がなされていない。

現在のエネルギー供給システムは、安全性や安定供給、経済性などを考慮しながら各国が築いてきた社会インフラである。気候変動の影響を緩和するには供給システムの低炭素・脱炭素化が不可欠だが、新しいシステムの構築や移行は非常に複雑で、国際エネルギー機関（IEA）の予測では年4兆ドルもの莫大な投資と長い移行期間を要する。

人類社会は不退転の決意で再生エネ・次世代エネルギーや送電網などの強化・社会実装に取り組むべきだが、新システムが未成熟なうちに既存システムが弱体化すると、エネルギー供給不足や価格高騰が生じ世界的な混乱が頻発しかねない。脱炭素社会への移行期間中も、原子力を含む既存システムを一定期間は維持し、新旧両システムにバランス良く資金・技術・人材を投入することが必要だ。

新旧システムのバトンリレーの実現には、脱炭素化を揺るがない目標として掲げつつ、社会と産業を不安定化させずに移行を実現するロードマップを設計・共有し、政治・産業・消費者が一体となって取り組まなければならない。特にエネルギー消費が伸びるアジアでは、各国単独での実現が困難。国際社会、とりわけ日米欧がどう支援するかが問われている。日本は省エネや、製造過程での二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）排出を抑えた「ブルーアンモニア」の普及・供給で貢献すべきだ。

COP事務局の分析では、2030年の温暖化ガス排出量は10年比13.7%増加する見込みであり、パリ協定の目標達成には程遠い。目標の野心的な引き上げとロードマップの策定・遂行は大変な挑戦だが、企業としても、一個人としても、将来世代に誇れる持続可能な社会を実現するためにこの挑戦に貢献していく。



## 中部企業に値上げの圧力 穀物・原油 仕入れ価格上昇 コスト抑制に限界

原材料の値上がりが中部の企業や生産者を直撃している。穀物や原油相場の上昇は幅広い産業に広がり、地域の製造業の仕入れ価格は13年ぶりの高さまで上昇した。商品への価格転嫁は一部にとどまり、コストを抑える企業努力も限界を迎えつつある。値上げの動きが本格化する可能性がある。

日銀名古屋支店の9月の企業短期経済観測調査（短観）によると、仕入れ価格が「上昇」と答えた割合から「下落」を差し引いた製造業の仕入れ価格判断DIはプラス44で13年ぶりの高水準となった。ただ販売価格判断DIはプラス7にとどまり、仕入れと販売の差が大きく広がった。

仕入れ価格の上昇を売値に転嫁する動きは始まりつつある。敷島製パンは10年以上値段を据え置いてきた名菓「なごやん」を10月から値上げした。卵や砂糖の値上がりを反映させた。フジパンも「本仕込食パン」などの食パンを22年1月から平均9.7%値上げする。

ただこうした動きは大手企業が中心だ。

名古屋市中心部の大須商店街にあるスーパー「生鮮食品館サノヤ万松寺店」。手ごろな価格の品ぞろえが売りで連日大勢の買い物客が訪れるが、三輪敏也取締役の表情はさえない。「大豆関係の加工食品や食用油などの仕入れ価格が上がっている。年内は販売価格を上げずに何とか頑張りたいが、年明け以降はどうなるか分からない」

サノヤを訪れた70代の女性は週1回、車で来店して数日分の食材を買い込む。「ガソリンが値上がりしているので、これからは色々な食品に影響してきそう。値上がりしたら買い控えするかもしれない」と話す。値上がりの影響が広範囲に及んでいるのは原油だ。資源エネルギー庁によると、愛知県のレギュラーガソリンの店頭価格は10月に1リットルあたり160円を突破し、7年ぶりの高値となった。軽油や重油、灯油なども値上がりが続く。政府は米国などと連携して石油備蓄の放出に動くが「（価格低下の）効果が持続するかは不透明」（名古屋商工会議所の山本亜土会頭）と懸念する声もある。

すでに農業や運輸業に影響している。菊の全国の出荷量の約3分の1を占める愛知県では菊のハウス栽培が盛んで、冬場は重油を使う暖房でハウスを暖める。田原市の菊農家、渡会理史さんは「今冬は昨年より3割超も値上がりしている」と頭を抱える。菊の価格は市場で決まるため、燃料高は採算悪化に直結する。運輸業界も苦しんでいる。中部―関東間の長距離輸送を担っている東海西部運輸（愛知県一宮市）の中野敏一社長は「1円の値上がりで燃料費が数十万円も上がる」と話す。新型コロナウイルス禍で落ち込んだ荷動きの回復は鈍いといい「顧客に運賃の値上げもお願いしづらい」。中京陸運（名古屋市）の鷹見正彦社長は「運賃を5～10%上げなければ運輸業界が立ちゆかなくなる」と危機感を募らせる。

企業の値上げは消費者の負担が増えるが、政府は所得制限を設けたうえで、18歳以下の子どもに1人あたり10万円を配る。「政府が昨年支給した10万円の一律給付の多くも貯蓄にまわっており、消費者が値上げを受け入れる経済的な余地は多少ある」（金融関係者）との指摘もある。値上げ効果で企業収益が改善すれば雇用や所得の伸びにもつながりやすい。